

# 会 報

令和 2 年 12 月 1 日 発行

## 「パブリックもビジネスも」とスポーツ政策

横山勝彦（同志社大学）

COVID-19の大きな影響を受けた半年が早や経過した。こうした社会的混乱の中、これまでに見られなかった人々の行動を制限するという「公」の秩序と自由な社会活動や経済活動という「私」の問題が交錯し、人権と自由をめぐる議論や次々と打ち出される施策の評価は多岐にわたっている。

スポーツにおいても、東京オリンピック・パラリンピックの延期、高校野球の甲子園大会の中止、プロスポーツの自粛などなど、緊急事態下でのオンラインでは伝達できないいわゆる3密がもたらす正の側面であるスポーツの集合的な価値とその社会的波及効果が改めて問われる現状にある。そこには、「経済なき道徳は寝言、道徳なき経済は退廃」（渋沢栄一）という悩ましいトレードオフ状態があり、それを解決し、あちらもこちらも立てる、つまりパブリックとビジネスを両立させる両にらみのスポーツ政策が求められるのである。

そして、その政策は、国や地方自治体などが社会的ニーズの高い活動として行う活動とされる「公助」、個人や企業などの自らの責任で行う活動とされる「自助」、コミュニティやNPOあるいは任意団体などが行い、それらのバランスを取る中間的位置づけとしての活動とされる「共助」という、3つの視点から捉える必要がある。これらは言い換えると、制度、組織、個人の三層構造にあり、そこには同化圧力と同調行動が行き来する。スポーツが公平さと公正さを基軸とする持続可能な社会形成に寄与する文化とすれば、それぞれの政策の価値判断について、互いに根拠を出し、対話により接点を見つけ合意形成した上で、それらの望ましい組み合わせを政策立案することがポイントとなる。

私的で自由な人間の基本的行動であり、かつ経済活動の源泉となるスポーツによる行動変容が人々の幸福度向上につながり、貧困と格差の改善をめざす共感社会構築の一助となる政策研究の蓄積が我々体育・スポーツ政策学会に期待されるのである。

《大会報告 (29 回大会) 》

日本体育・スポーツ政策学会  
第 29 回大会報告

実行委員長 日比野幹生 (日本体育大学)

日本体育・スポーツ政策学会第 29 回学会大会は、2019 年 11 月 30 日 (土)・12 月 1 日 (日) の 2 日間にわたり、日本体育大学東京・世田谷キャンパスにて開催しました。多数の参加者を迎え、スポーツ庁、日本スポーツ振興センターの後援、8 社の企業協賛のもと盛況に終わることができました。第 29 回学会大会では、大会テーマを「社会の持続可能な発展をスポーツ政策から考える～Go Beyond 2020」としました。我が国は、2020 年にオリンピック・パラリンピック競技大会を単に開催するだけではなく、2020 年後も持続可能な発展を目指さなければなりません。第 29 回学会大会では、スポーツが日本社会の持続可能な発展にどのように貢献できるのか、このためにスポーツ政策はどうあるべきかといった観点から議論する機会としたいと考えました。

このようなことから、第 29 回学会大会では、まず、スポーツの持つ可能性、特にオリンピック・パラリンピック競技大会といったメガスポーツイベントのソフトパワーとしての意味を議論するために、英国のマンチェスターメトロポリタン大学においてスポーツ政策、スポーツ政治などの研究に取り組む Jonathan Grix 教授にメガスポーツイベントとソフトパワーに関する基調講演をお願いしました。Jonathan Grix 教授には、大変お忙しい中來日していただき第 29 回学会大会のために講演いただいたことを心から感謝しております。

次に、「社会の持続的な発展に向けたスポーツ政策のあり方とスポーツ政策学の課題」をテ

マにシンポジウムを開催しました。スポーツ庁国際課係長の津々木昌子さん、同志社大学スポーツ健康科学部准教授の庄子博人さん、京都大学プロジェクト研究員の稲垣憲治さんに登壇いただき、特に社会の持続可能な発展に向けたスポーツ政策の貢献・効果をどう把握し、評価するかといった観点から議論いただきました。

第 29 回大会では、前回大会に引き続き、若手政策セッションを開催しました。「スポーツ政策学研究の国際的動向を知る：国際学会に参加してみよう！」をテーマに、基調講演に続き International Journal of Sport Policy and Politics の Editor-in-Chief である Jonathan Grix 教授を囲んで、スポーツ政策学研究の国際的動向をレクチャーいただくとともに、国際学会での発表や学会誌への論文投稿に向けて意見交換ができたことは、若手政策研究者にとって貴重な機会となりました。

一般研究発表では、スポーツ政策全般にわたり口頭発表が行われました。今回は、1 つの会場で全ての発表・議論をしました。これは、多くの参加者の意見等を引き出すこととなり、有意義な一般研究発表になったとの感想をいただいております。

第 29 回大会では、以上のような内容により、若手から経験豊富な研究者、国や地方の行政関係者、スポーツ機関・団体の関係者、そして学生・院生までもが集い議論する場を提供できたと考えております。最後に、第 29 回学会大会の準備・開催にご尽力を賜りました日本体育・スポーツ政策学会、日本体育大学をはじめとする関係の皆様へ感謝申し上げ、第 29 回大会の報告とさせていただきます。

《大会参加報告》

日本体育・スポーツ政策学会  
第 29 回大会に参加して

植田俊（東海大学）

2019年11月30日・12月1日の二日間に渡り、第29回学会大会が日本体育大学で開催された。スポーツ条例・部活動政策・公共スポーツ施設整備・学習権保障制度を事例にした「政策制定やその合意に至るプロセス」の研究や、地域スポーツ・行政機関長の民間人登用・全国的なスポーツ人口・SDGsへの貢献・保護者から見た部活動指針の評価など、「スポーツ政策の評価」に関する研究が中心を占めていた。その一方、スポーツ以外の社会政策や近代社会におけるスポーツの布置（例えば公共放送、都市計画、資本主義）を議論する報告もあり、「体育・スポーツ政策とは何か」という問いのみならず、「政策とは何か」をスポーツから問うていこうとする積極的な研究姿勢を感じた。

発表演題数は二日間で「12」であり、確かに少なさを感じさせたが「少数派必然的に精鋭になる」こともまた実感した。なぜなら、演題数に合わせて、発表者全員が一つの会場に集約され学会参加者一同で議論に臨む形式となったために、多様な専門と視点からの質疑とそれへの応答を通じた議論が実現していたからである。普段、他分野に所属する研究者からの発表もあり、今回の参加者、特に大学院生たちは今後の研究活動にとっての視野や展望を多角化できる可能性を得られたのではないかと思う。

こうした経験は1人でも多くの研究者と共有できることが望ましく、その実現のために、今後、政策論（学）的視点でスポーツを分析することやスポーツの事例を通じた政策分析・構造解明の意義や強みを、他の人文社会科学的ス

ポーツ研究領域等との連携や交流などを図りつつ、発信していくことが重要ではないかと感じられた学会大会であった。

最後に、現在「コロナ禍」との戦いに望まれている全ての方々に敬意を表しつつ、自分たちには、「自粛」が続くスポーツの、現代社会における今後のあり方を追考し続けるという「使命」を改めて言い聞かせ、自覚を促したいと思う。

日本体育・スポーツ政策学会  
第 29 回大会参加報告

米村真悟（同志社大学大学院）

日本体育・スポーツ政策学会第29回大会に参加させて頂きました、同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程の米村真悟と申します。

学会大会には、昨年と一昨年も参加させて頂きましたが、今年は現在執筆中の博士論文につながる一般研究発表をさせて頂きました。まずは、発表という貴重な機会を頂けたことに感謝申し上げます。私は、「社会的インパクトを用いたスポーツ政策の評価システムの考察—地域スポーツを事例に—」という題目で、今後の教育・福祉といった暗黙的で可視化しにくいスポーツ価値の評価の可能性について発表させて頂きました。質疑応答では、スポーツ政策学的知見から見た社会的インパクトという評価手法の意義、その測定方法の汎用化に対する課題等、貴重なご意見を頂戴することができました。博士論文執筆に向けて、自身が整理し切れていなかった課題が一層明確となり、今後の研究の発展に役立てることができそうです。また、他の先生方の一般発表では、多様な分野の研究を伺うことができ、大変刺激を受けました。

上記の様な自身の研究テーマとも関連し、「社

会の持続的な発展に向けたスポーツ政策のあり方とスポーツ政策学の課題」をテーマとしたシンポジウムも、大変興味深く拝聴しておりました。シンポジウムでは、共生社会・健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化等に関する中長期的な効果の可視化やそのための指標の議論について、海外事例を交えながら議論されておりました。2020年東京オリンピック・パラリンピック以後のレガシー形成の議論が不足すると感

じており、自身の研究の重要性を再認識する機会ともなりました。

最後になりましたが、発表にあたりご指導くださった先生方、ご意見をくださった先生方、貴重なお話をしてくださった先生方、本学会大会の準備・運営をしてくださった先生方等、このような貴重な機会を与えてくださった全ての方々に感謝申し上げます。



日本体育・スポーツ政策学会  
関西セミナー報告

関西セミナー担当理事 黒澤寛己

関西セミナーについては、同志社大学を会場として下記の通り開催した。各回において、体育・スポーツ政策に携わっている実務者を招き、多様なテーマについて講演を依頼した。講演後は、講師と参加者による積極的な議論を行い、日本における体育・スポーツ政策の新たな展開について、学際的な視点で検討した。

理事会で提起された課題は、セミナーを関西だけでなく関東や地方でも開催するということである。本年度は、初めての試みとしてビデオ会議アプリ（zoom）によるオンラインでの開催を行った。このことにより、講師は地方からでも講演を行うことが可能となり、参加者の交通

費や会場の印刷費などを軽減することもできた。今後は、このような方法を活用し学会員にとって有意義なセミナーを開催したいと考えている。

記

日時 2019年4月20日（土曜日）  
会場 同志社大学今出川キャンパス 良心館105教室  
講師 内閣府地方分権改革推進室調査員 藤田裕起（ふじた ひろき）氏  
演題 「スポーツ政策の立案プロセス～国と地方の関係性を視点に～」

日時 2019年7月20日（土曜日）  
会場 同志社大学今出川キャンパス 良心館208教室  
講師 株式会社サイレントボイス代表 尾中友

哉 (おなか ともや) 氏

演題 「意思決定における共感形成」

日時 2019年11月16日(土曜日)

会場 同志社大学烏丸キャンパス 志高館 1 階  
11 教室

講師 豊島株式会社 堀内春香 (ほりうち はるか) 氏

演題 「メガスポーツイベントにおける関連企業の取り組み」

日時 2020年1月5日(土曜日)

会場 同志社大学烏丸キャンパス 志高館 1 階  
11 教室

講師 京都府立西城陽高校教諭 染田賢作 (そめだ けんさく) 氏

演題 「野球界における政策的課題について」

日時 2020年7月18日(土曜日)

会場 ビデオ会議アプリ (zoom) によるオンラインでの開催

講師 東北福祉大学女子サッカー部監督 松村利子 (まつむら さとこ) 氏

演題 「サッカーの指導者養成制度におけるスペインと日本の比較」

以上

### 第 30 回学会大会案内

第 30 回学会大会は、2020 年 11 月 29 日 (日) に、ビデオ会議アプリ (zoom) によるオンライン開催を予定しております。学会員の皆様におかれましては、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 《2019 年度理事会報告》

<2019 年度・第 1 回理事会>

日時：2019 年 3 月 29 日 (金) 14 : 00 ~

場所：筑波大学東京キャンパス (557 教室)  
龍谷大学深草学舎 (第 3 共同研究室)  
※インターネット会議で同時に実施

#### 【審議事項】

- (1) 理事長・事務局長の選出・決定
- (2) 新役員 (案) について
- (3) 2019 年・2020 年度の組織運営体制、役員役割分担などについて
- (4) その他

<2019 年度・第 2 回理事会>

日時：2019 年 5 月 11 日 (土) 14 : 00 ~

場所：筑波大学東京キャンパス (431 教室)  
龍谷大学深草学舎 (第 3 共同研究室)  
※インターネット会議で同時に実施

#### 【審議事項】

- (1) 平成 30 年度第 5 回理事会議事録 (案) の確認について
- (2) 2019 年度第 1 回理事会議事録 (案) の確認について
- (3) 事務局移転ともなう会則の変更について
- (4) 2019 年度学会大会について
- (5) 2019-2020 年度理事役割分担 (案) について
- (6) 2020 年度及び 2021 年度学会大会について
- (7) 出版企画について
- (8) ICSEMIS について
- (9) 学会誌の J-STAGE 登録について
- (10) その他

#### 【報告事項】

- (1) 研究誌発行について
- (2) 会報の発行について
- (3) セミナーの開催 (4/20) について

(4) その他

<2019 年度・第 3 回理事会>

日時：2019 年 7 月 6 日（土）14：00～

場所：筑波大学東京キャンパス（434 教室）  
龍谷大学深草学舎（第 3 共同研究室）  
※インターネット会議で同時に実施

【審議事項】

- (1) 2019 年度第 2 回理事会議事録（案）の確認
- (2) 新入会・退会者の承認、会員数の報告、入会申込フォーム（案）について
- (3) 2019 年度学会大会について
- (4) 学会出版企画について
- (5) 学会以外の情報提供に対する会員への配信の申し合わせについて
- (6) その他

【報告事項】

- (1) 2020 横浜スポーツ学術会議について
- (2) 研究誌発行について
- (3) 学会賞及び奨励賞について
- (4) 学会ホームページについて
- (5) 役員のメールアドレス付名簿の配布について
- (6) セミナーについて
- (7) 日本スポーツ体育健康科学学術連合第 3 回大会について

<2019 年度・第 4 回理事会>

日時：2019 年 8 月 28 日（水）14：00～

場所：筑波大学東京キャンパス（557 ゼミ室）  
龍谷大学深草学舎（第 2 共同研究室）  
※インターネット会議で同時に実施

【審議事項】

- (1) 2019 年度第 3 回理事会議事録（案）の確認について
- (2) 新入会・退会者の承認、会員数の報告

について

- (3) 2019 年度学会大会について
- (4) 2019 年度総会議事次第（案）について
- (5) 学会出版企画について
- (6) その他

【報告事項】

- (1) 2020 横浜スポーツ学術会議について
- (2) 研究誌発行について
- (3) 学会賞及び奨励賞について
- (4) 学会ホームページについて
- (5) 2019 年度会費請求書の発送について
- (6) 役員組織体制（第 3 回理事会配布資料）の訂正について
- (7) 関連団体の情報連絡等について
- (8) セミナーについて
- (9) その他

<2019 年度・第 5 回理事会>

日時：2019 年 10 月 19 日（土）14：00～

場所：筑波大学東京キャンパス（556 ゼミ室）  
龍谷大学深草学舎（第 3 共同研究室）  
※インターネット会議で同時に実施

【審議事項】

- (1) 2019 年度第 4 回理事会議事録（案）の確認について
- (2) 2019 年度総会について
- (3) 2019 年度学会大会について
- (4) 学会賞及び奨励賞について
- (5) 学会出版企画について
- (6) 令和元年度 日本学術会議の実態調査への回答について
- (7) 新入会・退会者の承認、会員数の報告について
- (8) その他

【報告事項】

- (1) 2020 横浜スポーツ学術会議について
- (2) 研究誌発行について

- (3) 学会ホームページについて
- (4) 関連団体の情報連絡等について
- (5) セミナーについて
- (6) その他

<2019 年度・第 6 回理事会>

日時：2019 年 11 月 30 日（土）12：00～

場所：日本体育大学 東京・世田谷キャンパス  
(2206 教室)

【審議事項】

- (1) 2019 年度第 5 回理事会議事録（案）の  
確認について
- (2) 2019 年度総会について
- (3) 2020 横浜スポーツ学術会議について
- (4) 学会出版企画について
- (5) 次期（2021-2022 年度）会長選挙につ  
いて
- (6) 新入会・退会者の承認、会員数の報告  
について
- (7) その他

【報告事項】

- (1) 第 29 回学会大会について
- (2) 研究誌刊行について
- (3) 関連団体の情報連絡等について
- (4) セミナーについて
- (5) その他

<2019 年度・第 7 回理事会>

期間：2020 年 3 月 10 日（火）～

※メール会議

【審議事項】

- (1) 2019 年度第 6 回理事会議事録（案）の  
確認について
- (2) 2019 年度総会議事録（案）の確認につ  
いて
- (3) 第 29 回大会決算報告（案）について
- (4) 第 29 回大会情報交換会決算報告（案）

- について
- (5) 2020 年度学会大会について
- (6) 次期（2021-2022 年度）会長選挙につ  
いて
- (7) 新入会・退会者の承認について
- (8) その他

【報告事項】

- (1) 2020 横浜スポーツ学術会議について
- (2) 出版企画について
- (3) 学会誌編集について
- (4) 関連団体の情報連絡等について
- (5) セミナーについて
- (6) 会報について
- (7) その他

《学会誌の原稿募集について》

学会誌「体育・スポーツ政策研究」の原稿を  
募集しております。投稿規定をご確認の上、下  
記編集委員会事務局メールアドレスへ、word フ  
ァイル形式の原稿をメール添付にてご送付くだ  
さい。

神戸親和女子大学 田中聡研究室

「体育・スポーツ政策研究」編集委員会事務局  
stanaka@kobe-shinwa.ac.jp

(〒651-1111 神戸市北区鈴蘭台北町 7 丁目 13-1)

《令和元年度新入会員》

植田俊（東海大学国際文化学部）

南方隆太（筑波大学人間総合科学研究科）

中村祐太郎（富山高等専門学校）

筒井諒太郎（文部科学省）

佐藤 潤（日本体育大学）

鈴木隆広（日本ウェルネススポーツ大学）

高木浩之（株式会社 マネジメント総研）

遠藤保雄（仙台大学）

齋藤祐一（環太平洋大学）

（敬称略、所属等はいずれも当時）

《会員数》

2020年3月10日現在の会員総数は、213名です。入会を希望する方がございましたら、入会申し込み案内をお送りいたしますので、事務局までご連絡ください。

《事務局便り》

◇住所変更などはお早めに事務局へ

ご異動等によるご住所・所属・連絡先等の変更がある方は、FAX等にて至急事務局までご連絡ください。

◇年会費お支払いのお願い

令和元年度会費、前年度までの未納会費のお振込みをお願いいたします。

口座名：日本体育・スポーツ政策学会事務局  
郵便口座 No. : 00130-4-561426

◇学会誌のバックナンバーについて

学会誌「体育・スポーツ政策研究」のバックナンバーを1部2千円にて配布しております。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

◇学会ホームページについて

下記 URL でホームページが開設されています。

<http://www.jsppes.org/index.html>

日本体育・スポーツ政策学会 会報第 29 号

発行日：令和 2 年 12 月 1 日

発行人：日本体育・スポーツ政策学会

会長 横山勝彦

編集：理事会広報担当 井上洋一

運営委員 沖村多賀典

事務局：〒276-0013

千葉県八千代市保品 2014

東京成徳大学 出雲輝彦 研究室

TEL 047-488-7111

FAX 047-488-7204

Email [sportseisaku@gmail.com](mailto:sportseisaku@gmail.com)